

ふるさと発見
ちがさき丸ごと博物館

(愛称は「ちがさき丸ごと博物館」)

あたらしい年 おめでとうございます
みんなで良い年にしましょう！



(シンボルマークー公募作品)



(元旦の富士山 西久保から)

(写真はすべて鈴木国臣さん提供)

西久保の正月飾り

西久保の田に、ちょっと目を引く変わったお正月飾りを見つけました。「田んぼの中に、いったいなぜ・・・」と思っていたら、田に水を引くための井戸だそうです。井戸のポンプの凍結を防ぐための薦被り（こもかぶり）の上にお飾りをしたもので、「別にどうというものではないよ」と土地の方は言われましたけど、何ともほほえましい景色なんです。

大事な水を守り、収穫を願う農家の方々のあたたかい心（ココロ）を感じました。田の神様、自然の神様、今年もよい収穫を、そしてよい1年でありますよう とひそかに念じました。



正月飾りをされたポンプ 下は井戸全景



西久保の田園風景



茅ヶ崎のむかしは私たちの宝物

1300年前わが地域(まち)は文化・行政の中心だった

2002(平成 14)年に茅ヶ崎海岸から約 5km 北の丘陵南端にある県立茅ヶ崎北陵高校のグラウンドから古代の役所跡が発見され、8 世紀前半の相模国 8 郡の一つ高座郡の役所(郡衙(ぐんが))跡であることがわかりました。

また、200 m ほど南に下った平地には 2000(平成 12)年以降の本格的調査で古来より伝承されてきた寺院(七堂伽藍)が聳えていたことも明らかになってきました。海老名の国分寺よりも古く、相模国では最古とみられる 7 世紀末頃の創建で、10 世紀末から 11 世紀に消滅したとみられています。

役所と寺院とがこの地域に存在したことから 1300 年前(奈良時代)のわが地域は文化・行政の中心地であったといえます。

昨年 10 月 30 日から 11 月 1 日にかけて香川公民館で催された公民館まつりにおいて実行委員会の企画のもと、生涯学習課富永氏の講演と茅ヶ崎考古学



(高座郡衙跡 H14 年現地見学会資料より転載)

習グループの人々による上記の郡衙と七堂伽藍を中心としたパネル展示がありました。まつりに参加された市民の方々にとって、いにしえのわが地域茅ヶ崎の姿を振り返える良い機会になったようです。(池)

丸ごと博物館掲示板 (このコーナーは投稿記事をそのままのせています)

ことがら	内 容
青バト	昨年 10 月市営中海岸プール前で、丹沢から大磯海岸に塩水を飲みにくるといふ、青バト(土地の漁師はミドリバトとよびます)2 匹目撃。茅ヶ崎でも見られるのだ。
コゲラ	高砂緑地の八木重吉の歌碑の付近で 2 羽のコゲラを観察(3 名にて)。
小出川の紅白梅	みごとな満開、香りもすばらしかった。
WANTED (お願い)	茅ヶ崎で初めてカッコウを聞いた日。今年も話題になりますので、是非、場所と時間を教えてください。

-----郷土のまち茅ヶ崎を舞台にした読み物の紹介コーナー-----

- ◆ 「エリー◎ー茅ヶ崎の海が好き。」 著者：岩本えり子 出版社：講談社
桑田佳祐の実姉がカルフォルニアの海岸の自然の中の暮らしや、かかわった茅ヶ崎の海岸の高層マンション反対運動をつづった自伝的読み物。
- ◆ 「茅ヶ崎のてっちゃん」 著書：かしわ哲 出版社：講談社(文庫版)
舞台は茅ヶ崎の海岸近くにあるてっちゃんの家。なぜかいつも大勢の客が訪れる。泣き笑いの昭和ノスタルジー物語。

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館て何？

茅ヶ崎市の全域を屋根も壁もない博物館と見立てて、文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材など、このまちらしさをもついろいろな事柄を幅広く選び出し、これらを都市資源と呼ぶことにしました。これらの都市資源を調査・研究し、それぞれがもっている意味や魅力を広く市民に周知する一方、散策や各種イベントなどで活用を図ることにより、このまちを改めて知り、このまちを愛する心を育み、ひいてはまち全体の活性化を図ろうとするものです。そして、都市資源はこのまちのかけがえのない宝物として、まちの人々により保護され育てられていくことになります。

このように、ちがさき丸ごとふるさと発見博物館は、自然・環境的遺産や産業遺産及び文化的遺産を対象として、それらを保護・保存し、調査・研究し、時には育てる機能をもった、地域環境そのものが博物館であるとする考えであり、運営する者も利用する者も、あくまで市民であることを大きな特徴としています。市民が、自分たちのまちの未来のために、自分たちの考えと力で運営していく姿勢を特に重要視しています。



(ちがさき丸ごと博物館を担う土曜会)

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の役割

- 茅ヶ崎市内の都市資源を今の形のまま残していきます。(保全)
- 茅ヶ崎市内の都市資源を育てていきます。(保護・育成)
- 茅ヶ崎市内の都市資源を市民をはじめ多くの人に知ってもらいます。(普及・啓発)
- 茅ヶ崎市内の都市資源を活用していろいろなイベントを行い、参加します。
- 茅ヶ崎市内の都市資源をめぐる散策ルートをつくり、多くの人が各地域を訪れることにより、地域の産業や商業が活性化することを応援します。
- 地域の活性化により、都市資源が地域の大切な宝物として、地域の人により護っていく雰囲気が育つことを応援します。

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の活動

◆ ガイド養成講座

市内に点在している都市資源を関連づけ、児童・生徒、市民や市を訪れる人に解説・説明ができる丸ごと博物館ガイドを、講座やフィールドワークを実施して養成しています。そして幅広い茅ヶ崎の知識をもつ修了生を主体（土曜会）にちがさき丸ごと博物館を運営していきます。

第2期ガイド養成講座（平成20年10月～平成23年3月）

年	月	回	講義内容
21	11	20	茅ヶ崎の指定文化財
	11		郷土芸能大会（推薦行事 自由研修）
	12	21	考古学と茅ヶ崎（各論）
	12		第20回茅ヶ崎市遺跡調査発表会（推薦行事 自由研修）
22	1	22	茅ヶ崎の観光と産業
	1	23	フィールドワーク「小和田、菱沼の石造物を訪ねる」

◆ ちがさき丸ごと博物館土曜会 春までの活動

活 動 内 容	依 頼 元 ・ 協 働
小出七福神巡りガイド参加（1 / 15）	寒川町社会教育グループ
茅ヶ崎自転車プランへの協力（マップ作り）	市都市政策課
大岡越前祭への協力・浄見寺等指定文化財のガイド	茅ヶ崎市観光協会
湘南祭への協力参加	茅ヶ崎市観光協会
自治会公共施設見学へのガイド参加（21年度）	市秘書広報課
各種団体からの市内散策ガイド要請の対応	各種団体

自主企画事業のお知らせ

丸ごと ちがさき発見隊

☆市内の企業等を訪ねる

- ・松下政経塾
- ・株式会社アルバック

開催日 3月19日

(詳しくは3月1日号の広報ちがさきで紹介します)

ことしの茅ヶ崎市の観光やイベントなど

月	イベント名	概 要
2	梅の見頃	小出川、高砂緑地、氷室椿園など 3月までが見頃
3	桜の見頃（4月上旬まで）	行谷の宝蔵寺の早咲き桜、堤、浄見寺周辺、下町屋の国史跡旧相模川橋脚など
4	大岡越前祭（17. 18日）	菩提寺である浄見寺での墓前祭と各種行事。市街地でのパレード
	湘南祭(下旬)	中海岸を会場に賑やかに開催される
6	さかなの市（15日）	茅ヶ崎漁港荷さばき所にて開催される
7	サザンビーチ海開き	盛夏の到来を告げる
	浜降祭（19日）	暁の祭典 寒川神社及び市内各神社の約40基の御輿が海岸に集まり勇壮な禊ぎを繰りひろげる
8	サザンビーチ花火大会（7日）	華やかでダイナミックな光の祭典
	観光農園の果物狩りがはじまる	茅ヶ崎市観光農園を構成する各農園自慢の果物です

第2号は、ちがさき丸ごと博物館・土曜会の高橋さん、池上さん、川合さんが原稿、編集に参加してくださりととても助かりました。これからの紙面には、観光・産業や自然・環境に歴史・文化財といった茅ヶ崎の都市資源の探訪をはじめ、トピックス、イベント情報などを加え、ちがさき丸ごと博物館の活動状況を紹介していきます。四季折々の季節感をにじませながら楽しい情報誌にしていきたいと考えています。（2号編集長 T）



(高砂緑地の散策風景)

発行・編集 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1 茅ヶ崎市教育委員会生涯学習部 生涯学習課文化財保護担当

Tel 0467-82-1111 内線 3343 E-mail: shougaigakushu@city.chigasaki.kanagawa.jp